

# 新しい旅のエチケット

感染リスクを避けて  
安心して楽しい旅行

## あなたのエチケットからはじまる安心な旅



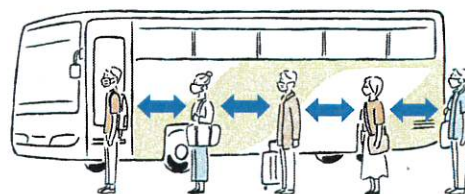
すいている時期、  
時間帯で、  
快適旅行



マスクして、  
手洗い消毒、  
接種後も



日頃から、  
健康チェックを  
習慣に



並ぶとき、  
しっかり取ろう  
ディスタンス



旅行前、  
体調不良？  
旅控え



お店・宿選びの選択肢、  
感染対策  
忘れずに

## 飲食店等における感染防止対策チェック項目

### 1. 来店者の感染症予防

#### (1) 入店・注文・支払い

- 1□ 店内入口に消毒設備を設置し、入場時に必ず、従業員が来店者に呼びかけ、手指消毒を実施する。
- 2□ 順番待ち等により列が発生する場合は、マスク着用の上、最低1mの来店者同士の対人距離を確保するための誘導・表示などを行う。
- 3□ レジ等での対面接客時に、透明アクリル板、パーティションなどで遮蔽するほか、コイントレイを介した受け渡し、またはキャッシュレス決済を導入する。なお、現金等の受け渡し後には手指衛生を行う。
- 4□ 体調不調の場合に入店しないこと、こまめな手洗い・手指消毒、飲食時以外のマスク着用、咳エチケットの徹底を呼びかける。
- 5□ エレベーターや送迎車がある場合は、それぞれ人数制限を行う。また、送迎車については運転席と後部座席を透明アクリル板等で遮蔽する。

#### (2) 食事・店内利用

- 6□ 座席については、距離の確保やアクリル板等の設置により飛沫感染を防止できるように配置すること。
  - (1) テーブル間の配置についてはいずれかを満たすこと
    - 同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブルの間は、相互に対人距離が最低1m以上確保できるよう配置する。
    - 同一グループが使用するテーブルとその他のグループが使用するテーブルの間を、アクリル板（目を覆う程度の高さ以上のものを目安）、パーティション等で遮蔽する。
  - (2) 同一テーブルでの配置についてはいずれかを満たすこと
    - ※少人数の家族、介助者同席の高齢者・乳幼児・障害者等が対面での着座を希望する場合は除く。
    - 真正面での着座配置をしない。座席の間隔を最低1m以上確保できるよう配置する。
    - テーブル上にパーティション等を設置して遮蔽する。
  - (3) カウンターテーブルの席の配置についてはいずれかを満たすこと
    - カウンターテーブルの席間は最低1m以上の間隔を確保する。
    - カウンターテーブル上にパーティション等を設置して遮蔽する。
- 7□ 滞在時間の制限※や予約制の活用などにより同時に多数の人が集まらないようにする。
  - ※2時間程度を目安
- 8□ 大皿は避け、料理を個々に提供する。もしくは従業員が取り分ける。
- 9□ ビュッフェスタイルでは、いずれかを満たすこと
  - 利用者が一回の料理取り分けごとに新たな小皿を使用するとともに、飛沫がかからないようにカバーを設置するなど食品・ドリンクを保護し、取り分け時はマスク、使い捨て手袋等の着用及び取り分け用のトングや箸を共有としないことを徹底する。
  - 料理を小皿に盛って提供するか、スタッフが料理を取り分ける。
- 10□ 卓上の共用調味料、ポット等の設置を避けるか、これらを客入れ替え時に消毒する。
- 11□ 店内BGMの音量を低減させ、大声での会話をさけるとともに、お酌や回し飲み、スプーンや箸などの食器の共有や使い回しは避けるように注意喚起を行う。
- 12□ 個室を使用する場合は、常時換気（換気基準は「3. 施設・設備の衛生管理の徹底」のとおり）を行う。
- 13□ トイレの蓋を閉めて汚物を流すこと、トイレ使用後は、手洗いや手指消毒を実施することを表示する。

を公表する。

- 27□ 従業員に対し、感染疑いがある場合は検査結果が判明するまで出勤を控えることなど、感染拡大を防止する上で適切な行動を徹底するための研修機会を提供する。
- 28□ 感染リスクの早期把握のため、北海道が提供する「北海道コロナ通知システム」を導入し、入り口や座席にQRコードを掲示し従業員が来店者に登録を呼びかけるとともに、国が提供する「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」の利用を呼びかけるほか、上記以外の方法により、感染リスクの早期把握の仕組みを導入する。